



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東  
コード番号 3928 URL <https://mynet.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩城 農  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西村 拓也 TEL 03-6864-4261  
四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	2,658	2.4	70	24.0	59	1.5	168	211.2
2022年12月期第1四半期	2,595	△13.2	56	△81.4	58	△80.5	54	△76.3

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 178百万円 (184.5%) 2022年12月期第1四半期 62百万円 (△72.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	19.95	—
2022年12月期第1四半期	6.23	—

(注) 2022年12月期第1四半期および2023年12月期第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	4,060	1,171	28.7
2022年12月期	4,360	995	22.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 1,167百万円 2022年12月期 989百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	6.00	—	0.00	6.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は対前期）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期（累計）	9,400	△10.8	100	—	80	—	100	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規一社 除外1社 （社名） 株式会社滋賀レイクスターズ

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期1Q	8,710,334株	2022年12月期	8,710,334株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	281,621株	2022年12月期	271,621株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期1Q	8,431,157株	2022年12月期1Q	8,674,803株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する国内ゲームアプリの市場では、中国・韓国系を中心とした海外パブリッシャーによるタイトルのシェアが年々増加しており、また、各ゲームタイトルのリッチコンテンツ化が進行しております。そのため、資金調達力などの企業体力に限界のある、小・中規模事業者の淘汰が急速に進行しており、今後も事業者間の合従連衡が行われていくものと考えております。

このような市場規模のもと、当社グループは、スマートフォンゲームの運営に特化したゲーム事業を主力事業としております。既にリリースされているゲームタイトルをゲームメーカーから買取や協業、またはM&Aで仕入れ、国内最大数のタイトル運営で蓄積したデータ・アセット・ノウハウをシェアリングすることで収益性を高め、タイトルの長期利益化・長期運営を実現しております。

また、当社グループは「デジタルの力で繋がりを拡張する」というミッションの下、対象とする領域をゲーム領域に加えスポーツ領域のコミュニティに投下し、ファンタジースポーツの事業化に注力しております。ファンタジースポーツとは、実在する好きな選手を集めて空想のチームを作り、実際の試合における選手の成績に基づいて競うゲームで、米国ではプロスポーツの新たな楽しみ方として普及・定着し、その市場は9,000億円にのぼります。日本におけるファンタジースポーツ市場において、リーグ公認のもと運営を通じた収益をスポーツに還元するスポーツエコシステムを構築し、事業の拡大を目指しております。

当第1四半期において、ゲーム事業では2023年1月25日をもって当社が運営する「神獄のヴァルハラゲート」がサービスリリースから10周年を迎え、運営期間が10年を超えるものが累計で11本となりました。今後も累計80タイトル以上のゲーム運営から得た知見をゲームタイトルの長期運営に活かしてまいります。また、現在共同運営している「モバプロ2 レジェンド」は2023年3月1日より配信名義と運営主体を当社グループ会社であるマイネットゲームス社に変更をいたしました。引き続き、新規獲得を強化し獲得後の長期運営に必要な運営力を高め、ゲーム事業での安定した利益創出を行ってまいります。なお、当第1四半期において1タイトルのエンディングを行い、2023年3月末時点での運営タイトル数は25となっております。

ファンタジースポーツでは、昨年リリースしました当社の自社プロダクトである「B.LEAGUE#LIVE2022」において、さまざまな集客施策により新規ユーザーの獲得と定着が進み、着実に右肩上がりの成長を築いております。そして、当社が運営する日本最大級のバスケットボールメディア「BASKETCOUNT」からの情報発信を組み合わせ、メディアとゲームの両面から生み出すシナジー効果を用いて、国内におけるバスケットボールファン・コミュニティの熱量を高め、ファンタジースポーツをさらに盛り上げてまいります。引き続き、国内のファンタジースポーツ市場の形成をリードするとともに、当社における第二の柱となる事業として確立を目指してまいります。

クラブDX事業では、新規投資の選択と集中を進め、プロバスケットボールチーム「滋賀レイクス」の運営会社である株式会社滋賀レイクスターズの当社が保有する全株式を2023年3月に譲渡し、クラブDX事業からの撤退を決定いたしました。今後につきましては、既存の主力事業であるゲーム事業と成長が期待されるファンタジースポーツに集中してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,658,343千円（前年同期比2.4%増）、営業利益は70,436千円（前年同期比24.0%増）、経常利益は59,466千円（前年同期比1.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は168,225千円（前年同期比211.2%増）となっております。

なお、当社グループはゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて299,280千円減少し、4,060,746千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比434,451千円の減少）などがあったことによるものであります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて475,074千円減少し、2,889,094千円となりました。これは主に、長期借入金の減少（前連結会計年度末比227,200千円の減少）及び社債の減少（前連結会計年度末比205,000千円の減少）などがあったことによるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて175,794千円増加し、1,171,651千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加（前連結会計年度末比168,220千円の増加）などがあつたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月15日公表の「通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」の開示をご覧ください。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,977,096	1,542,644
売掛金及び契約資産	1,187,360	1,131,709
未収入金	13,699	5,185
未収還付法人税等	27,266	27,264
その他	416,194	657,407
貸倒引当金	△5,942	△3,700
流動資産合計	3,615,673	3,360,509
固定資産		
有形固定資産	53,066	50,355
無形固定資産		
のれん	31,000	28,000
その他	57,480	51,257
無形固定資産合計	88,480	79,257
投資その他の資産		
投資有価証券	215,027	221,005
敷金	106,131	103,444
長期前払費用	265,665	237,856
繰延税金資産	15,432	8,169
その他	550	150
投資その他の資産合計	602,806	570,624
固定資産合計	744,353	700,237
資産合計	4,360,027	4,060,746

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	351,758	232,190
未払金	279,107	688,637
契約負債	274,717	119,784
短期借入金	—	75,000
1年内返済予定の長期借入金	165,999	160,000
1年内償還予定の社債	490,000	440,000
未払法人税等	7,880	1,882
賞与引当金	73,862	34,696
その他	129,859	106,417
流動負債合計	1,773,182	1,858,606
固定負債		
長期借入金	662,200	435,000
社債	770,000	565,000
資産除去債務	25,339	30,488
長期未払金	127,652	—
その他	5,796	—
固定負債合計	1,590,987	1,030,488
負債合計	3,364,169	2,889,094
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	49,631	49,631
資本剰余金	1,391,688	1,390,438
利益剰余金	△366,083	△197,863
自己株式	△100,328	△100,328
株主資本合計	974,907	1,141,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,074	25,149
その他の包括利益累計額合計	15,074	25,149
新株予約権	5,875	4,624
純資産合計	995,857	1,171,651
負債純資産合計	4,360,027	4,060,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,595,182	2,658,343
売上原価	1,551,796	1,698,263
売上総利益	1,043,386	960,079
販売費及び一般管理費	986,584	889,643
営業利益	56,802	70,436
営業外収益		
受取利息	17	10
為替差益	1,629	—
助成金収入	3,409	2,772
その他	559	828
営業外収益合計	5,614	3,610
営業外費用		
支払利息	2,552	2,872
為替差損	—	68
社債利息	1,290	1,519
投資事業組合運用損	—	9,861
その他	—	259
営業外費用合計	3,842	14,579
経常利益	58,574	59,466
特別利益		
関係会社株式売却益	—	139,604
新株予約権戻入益	—	1,251
特別利益合計	—	140,855
特別損失		
固定資産除却損	133	—
特別損失合計	133	—
税金等調整前四半期純利益	58,440	200,322
法人税、住民税及び事業税	2,073	30,162
法人税等調整額	2,306	1,934
法人税等合計	4,380	32,097
四半期純利益	54,060	168,225
親会社株主に帰属する四半期純利益	54,060	168,225



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	54,060	168,225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,618	10,075
その他の包括利益合計	8,618	10,075
四半期包括利益	62,678	178,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,678	178,301
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の100%子会社である株式会社滋賀レイクスターズの当社が保有する全株式を、株式会社サン・クロレラの代表取締役社長である中山太氏に譲渡いたしました。これにより、当第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、2023年4月17日開催の取締役会において、人員削減等の合理化を行うことを決議いたしました。

1. 人員削減等の合理化の内容

(1) 理由

現在、当社では、前期の業績を受け、業績の安定化および早期黒字転換の実現を目的にタイトル獲得リスクの極小化、新規投資の選択と集中、全社的なコスト構造の改善を進めております。

この度、全社的なコスト構造の改善施策の一環で、退職勧奨による人員削減等の合理化の実施を決議しました。

(2) 合理化の方法 退職勧奨

(3) 人員数 40名程度

(4) 退職予定日 2023年6月30日

(5) その他 対象者には再就職支援金を支給します。

2. 業績への影響

現時点では、再就職支援金の総額等は未確定であるため、業績に与える影響は未定であります。